

玄関引戸 エレスター 断熱

取り扱い説明書

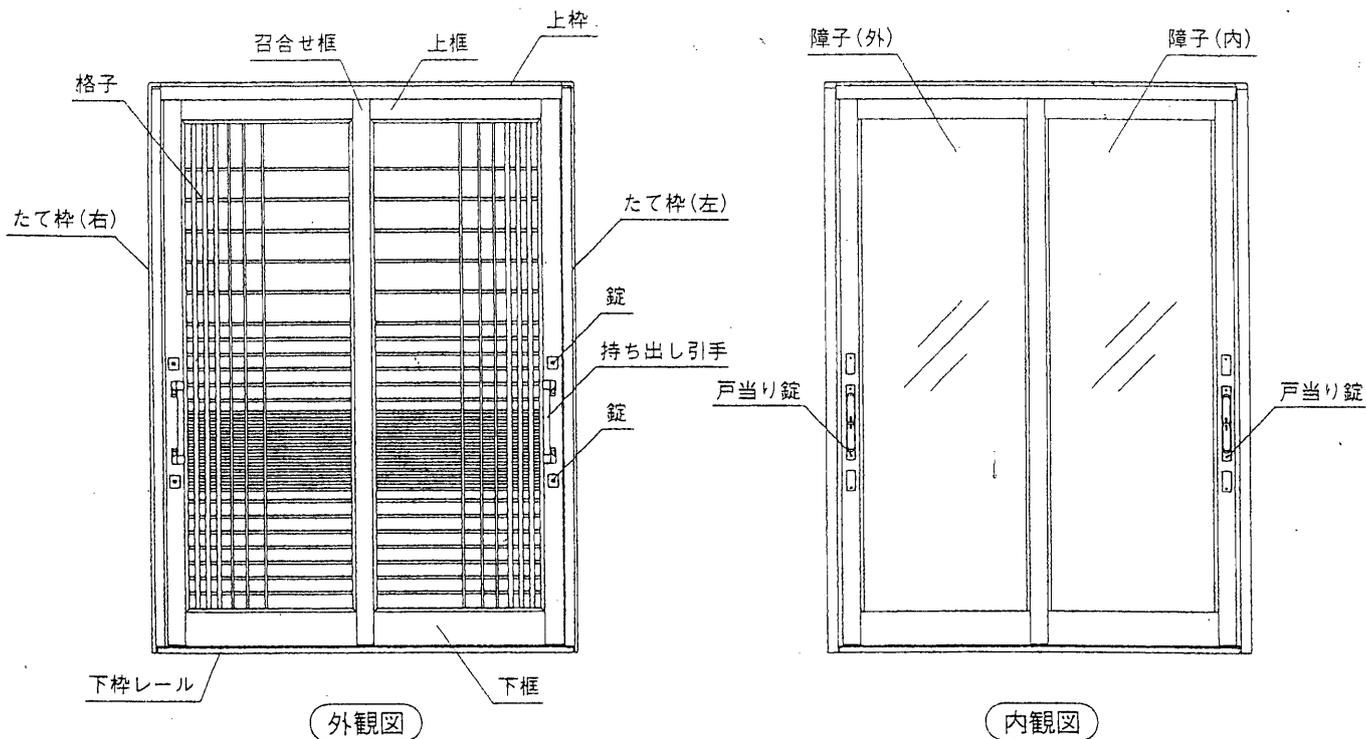
このたびは、新日軽の商品をご採用いただきましてありがとうございます。
商品の組み立ておよび取り付けには、この取り扱い説明書をお読みになり、正しく・美しく仕上げてください。

この取り扱い説明書は、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

目 次

1. 各部の名称	2
2. 錠の操作方法	2
3. 障子の建て込み	3
4. 建て付け調整	3
5. 錠受けの調整	4
6. 召合せ錠の調整	4
7. お手入れについて	5
8. 商品保証について	6
9. 修理依頼について	7

①各部の名称



②錠の操作方法

戸当り錠および召合せ錠が施錠状態で、障子を閉めると、障子が枠に納まらないだけでなく、枠やロック機構に損傷をきたしますのでおやめください。

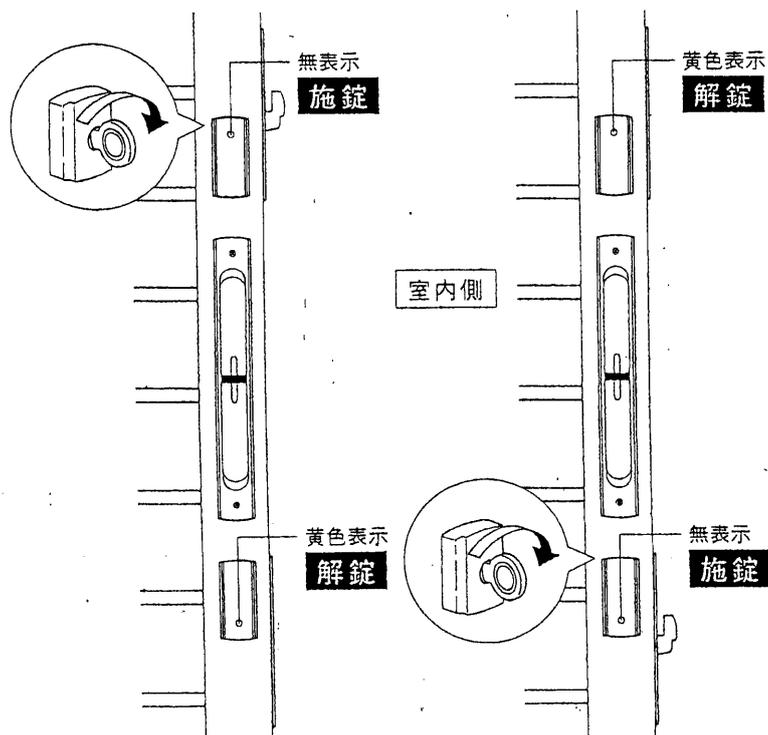


注意 錠の施解錠は最後までしっかり操作を行ってください。
障子を閉める際には、必ず、錠が解錠状態になっていることを確認してください。

戸当り錠(室外シリンダー)操作

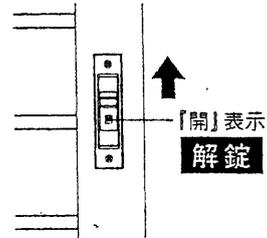
〈上一施錠／下一解錠〉

〈上一解錠／下一施錠〉

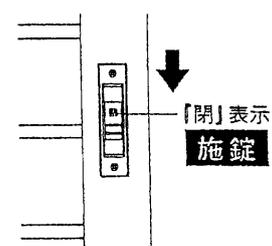


召合せ錠操作

〈解錠操作〉



〈施錠操作〉

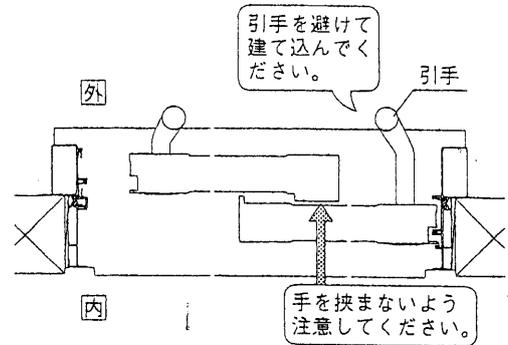
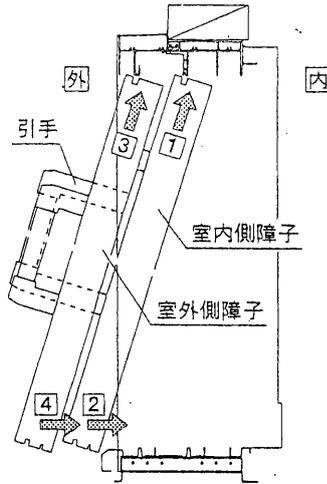


③障子の建て込み

- 外部から、図の順序に従って障子を建て込んでください。

▲注意

本障子はペアガラス製品のため、重量があります。建込みの際は手を挟んだり製品にキズをつけないよう、2人以上で作業をしてください。



④建て付け調整

■戸車調整

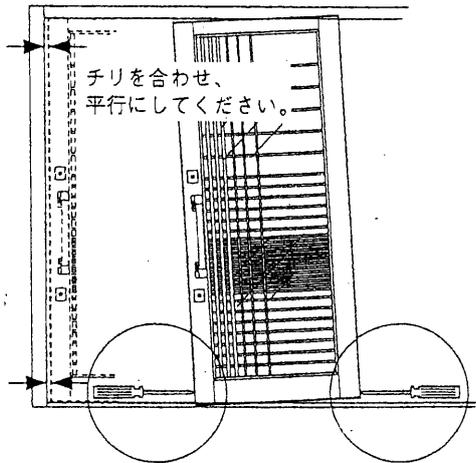
- 戸先框、召合せ框の一番下のホールプレートはずし、たて枠と框が平行になるように調整してください。

▲注意

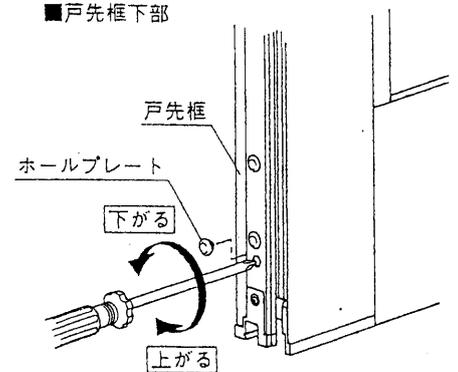
正しく調整されていないと「鍵が掛からない」「性能の低下」などの原因となります。

①お願い

ホールプレートは調整後、必ず元に戻してください。



■戸先框下部

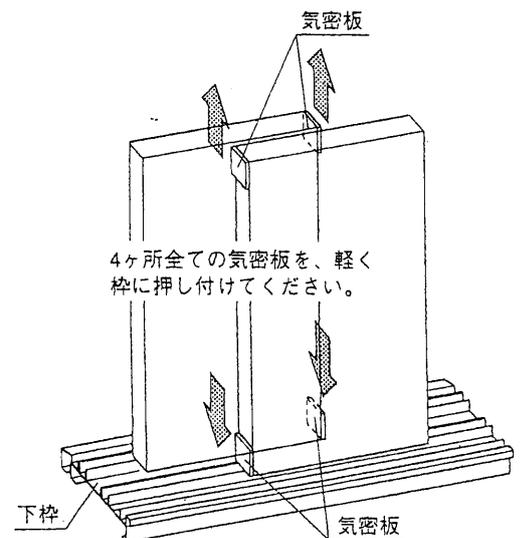
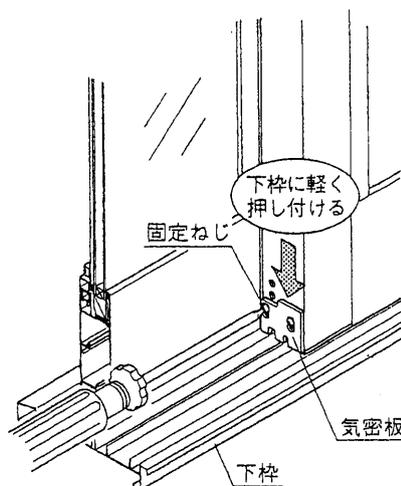


■気密板の調整

- 障子を閉めた状態で、召合せ框の上下にある気密板の固定ねじをゆるめてください。
- 固定ねじをゆるめた状態で下枠に気密板を軽く押し付け、ねじを締め込んでください。

①お願い

- 気密板のヒレの保護のため、工場出荷時には引っ込めた状態で取付けてあります。必ず調整を行い、すき間をなくしてください。
- 気密板は室内・室外含めて4ヶ所に取付けています。全て調整してください。



- 調整後、障子を開閉してスムーズに動くことを確認してください。

⑤錠受けの調整 (2枚戸の場合)

- たて枠の錠受けの上下にあるねじをゆるめ、障子の錠にある白い突起と錠受けの下側のねじセンターが合う位置で錠受けを固定してください。

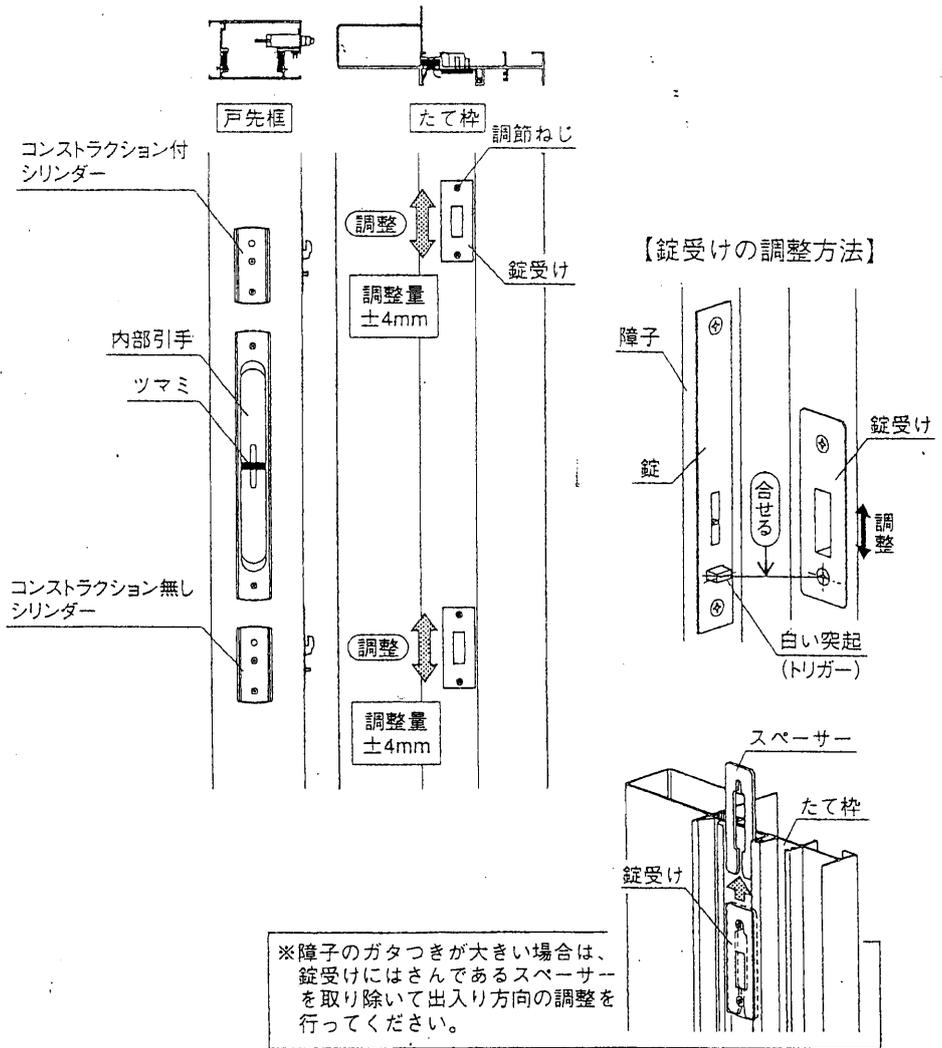
▲注意

錠受けの調整が悪いと、錠の掛かりが悪くなったり故障の原因になります。

※本製品は、内部よりツマミを操作して施錠した場合、上下同時に施錠されます。そのため、どちらか片方の調整がうまくいってなくても施錠できなくなります。

◆ポイント

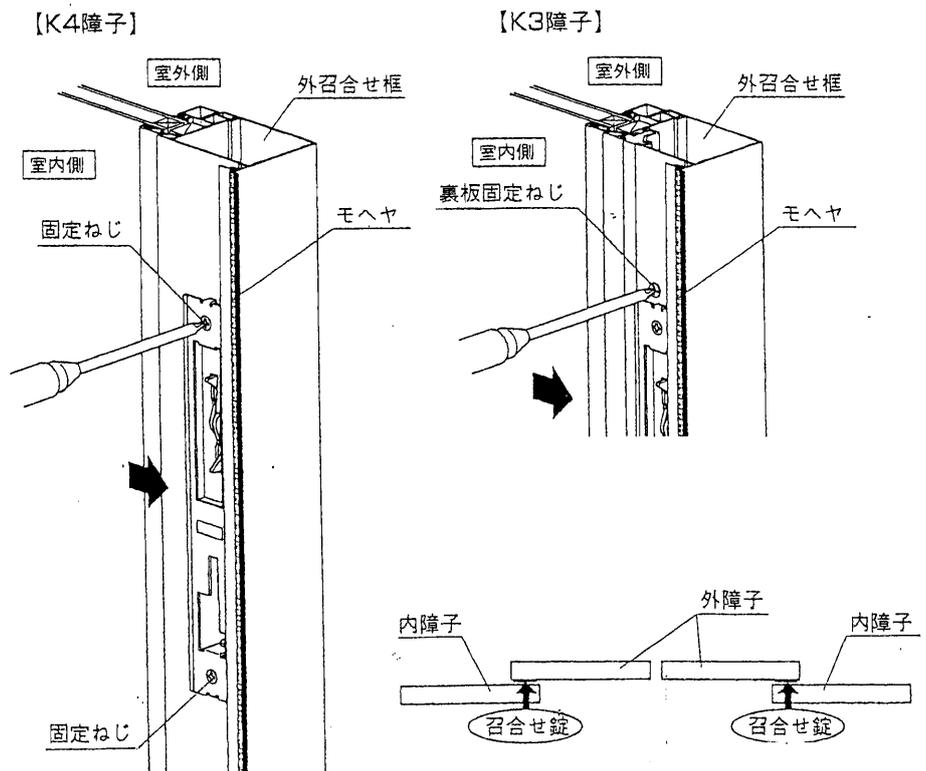
上のシリンダーは、外部よりコンストラクションキー(工事用鍵)を使えば単独で施解錠できます。まず上側を調整した後、内部よりツマミを操作して上下同時に施解錠しながら、下側の調整を行ってください。



⑥召合せ錠の調整 (4枚戸の場合)

施錠時に横方向のガタツキがある場合に行ってください。

- ①外召合せ框の固定ねじおよび裏板固定ねじをゆるめてモヘア側にスライド調整してください。
- ②調整後は、固定ねじを締めてください。



●錠受けの調整を行っても鍵が掛かりにくい場合

- 障子が傾いて、カマと錠受けが離れている可能性が考えられます。戸車の調整を再度確認してください。

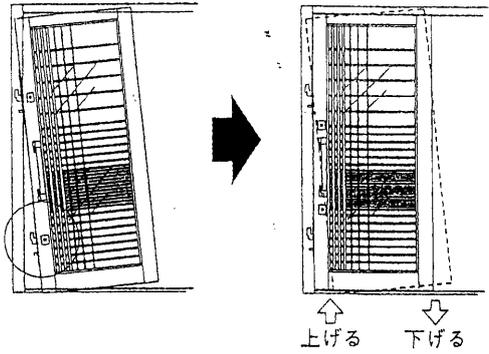
ポイント
 障子の上下いずれか片方を枠に押し当てると、鍵が掛かるようになる場合は、障子の傾きが原因である可能性が大きいです。

戸当り障子の調整

- 障子の下を押すと鍵が掛かりやすくなる場合

下側のカマが離れている

外観図

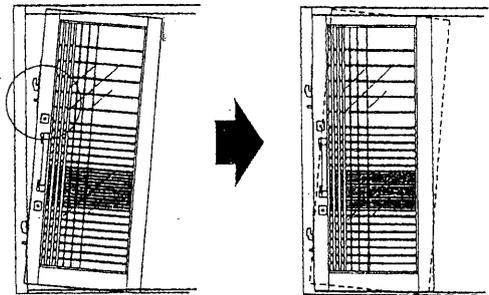


↑ 上げる ↓ 下げる

- 障子の上を押すと鍵が掛かりやすくなる場合

上側のカマが離れている

外観図

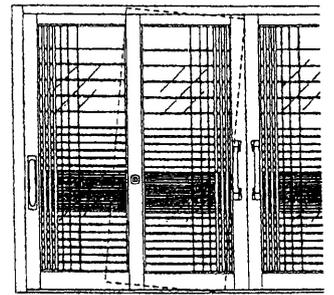
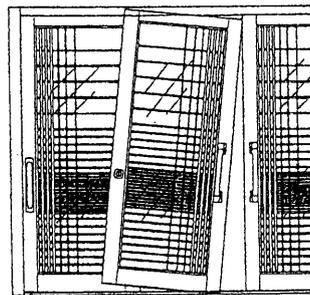


↓ 下げる ↑ 上げる

- 戸当り障子を調整後、突合せ障子が平行になるように調整してください。

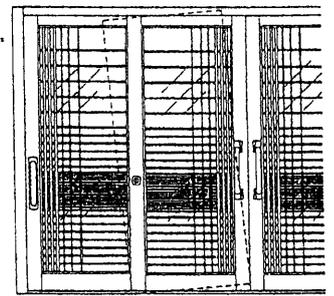
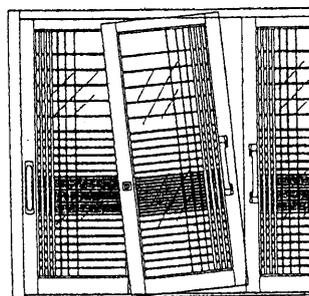
突合せ障子の調整

外観図



↓ 下げる ↑ 上げる

外観図



↑ 上げる ↓ 下げる

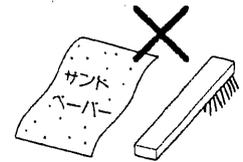
⑦お手入れについて

商品には所定の品質や安全面に配慮してありますが、清掃や保守・点検、調整などのお手入れを行わないと品質寿命を縮め、安全面でも問題となりますので定期的なお手入れを行ってください。

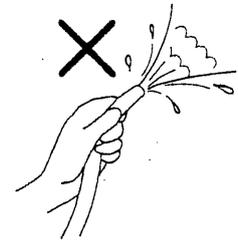
清掃および点検の頻度は、下記を参照してください。環境によって汚れ方や経年劣化の程度も異なります。必要に応じてお手入れの頻度を増やしたり、環境改善の処理を行ってください。

■清掃について

お手入れには、サンドペーパーやワイヤーブラシなどを使わないでください。商品に傷がつき、しみや腐食の原因になります。柔らかい布かスポンジをご使用ください。

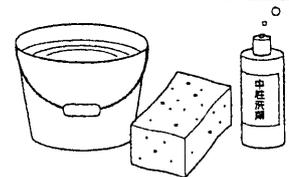


直接ホースで水をかけないでください。室内側に水が漏れる場合がありますので、水をかけないでください。



〔手順〕

- 中性洗剤をぬるま湯で溶かしてスポンジ、柔らかい布または歯ブラシや洗車用ブラシを使って表面を洗ってください。
- 水で十分に洗い流してください。
- 乾いた布で水分を拭き取ってください。



建物の立地条件と商品の標準清掃回数

立地条件	臨海工業地帯	海岸・工業地帯	市街地	田園地帯
清掃回数	1年に1~2回	1年に1回	1~2年に1回	2年に1回

■保守・点検について

ご使用中にいろいろな不都合が発生することがあります。そのままにしておきますと、人身事故や雨水の浸入による家財の損害などの原因となります。次のような不具合が発生した場合は、ご自分で分解や修理をなさらず、必ずお買い求めの取り扱い店やお近くの当社営業所へご連絡ください。

不具合

● ガラスにヒビ割れがある。
● ハンドルが破損した。
● 戸当り錠が破損した。
● ガラスを止めている押え材がはずれている。

処置

◎ 使用を中止し、修理依頼。(お取り替え)
○ 〃
○ 〃
◎ 手で押え材を押し込んで固定する。

以上の処置をしても直らなかつたり原因が見あたらない場合は、ご自分で分解や修理をなさらず、必ずお買い求めの取り扱い店やお近くの当社営業所へご連絡ください。

